

# 全員でつかみ取った勝利 福工大スポーツ



パロマ瑞穂ラグビー場

## 宗貞(3年) 逆転につながるトライ

# 逆転でIPUを撃破

清々しい秋晴れのパロマ瑞穂ラグビー場(名古屋屋市)。ここで全国大学ラグビー選手権大会3回戦、環太平洋大学(IPU)との激戦が繰り広げられた。前半は、福工大有利な試合展開であったが、IPUは福工大のミスを見逃さず、くらくらいつき、前半は19-18の僅差で折り返す。

だが、後半13分、自陣近くでマイボールラインアウトのミスからピンチを迎えると、相手の外国人選手から逆転トライを奪われる。その後、福工大はハイパントキックなどで上手くエリアを拡大し、チャンスを生むが得点へ結びつけることができない。逆転されたまま、試合時間残り10分を迎える。

ここから、福工大持ち前の攻撃のテンポを発揮。後半31分、速いカウンター攻撃に転じるとFW陣が細かくパスをつなぎ、最後は宗貞(3年)が相手ディフェンスを引きずりながらグラウンディング。時任(1年)が着実にコンバージョンキックをきめ、逆転に成功。

後半38分、トコラヒ(2年)のトライを加え、IPUを撃破した。



### 遺影ベンチに思い

2年前、帰省した故郷で交通事故にあい、亡くなった清水航平選手。生きていれば、最上級生として一緒にグラウンドに立っていた。人一倍努力家で、練習熱心なところは、部員の手本だった。

全国大会の出場権をかけた九州学生リーグでも、この全国大会でも清水選手の遺影と練習ジャージをベンチに置き、常に全選手の心の支えとなってきた。

全国大会3回戦は、関西リーグの強豪チームだ。九州勢が、関東・関西勢から挙げた勝利は、第4回大会に福工大が関西大に勝利したのが最後だ。

福工大ラグビー部員は、次も清水選手と一丸となつて、強豪関西勢に挑む。



ベンチに置かれている清水選手の遺影

### 宮浦監督 Interview

IPUは、朝日大学を撃破しての対戦、外国人留学生を主軸とする重量感あるアタッキングチーム。本学は、主軸の留学生をしつかりタックルして止め続けて、本学のペースに持ち込むことで試合を組み立てることができた。今年一番のチームのまとまりと全員の勇氣、そして2年前亡くなった清水君のためにという思いが終盤の逆転トライに結びついた。

## 全国大会 3回戦

12月11日(日) 11:45 KICK OFF!

花園ラグビー場(東大阪市)

v.s. ( 関西3位 )

応援、お願いします!

IPU環太平洋大学  25 18 前半 19 後半 7 12 31  福岡工業大学

試合終了

T	G	PT	PG	DG		T	G	PT	PG	DG
2	1	0	2	0	前半	3	2	0	0	0
1	1	0	0	0	後半	2	1	0	0	0